

NIIGATA SEIRYO NEWS

2016/3 March

NO.13



平成27年度 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 学生表彰式

CONTENTS

01 CLOSE-UP

・平成27年度 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 学生表彰式を実施しました

02 CLOSE-UP

・国立青少年教育振興機構「法人ボランティア表彰伝達式」で学生が表彰されました

03 TOPICS

・フィリピン研修旅行を実施しました
・大学院看護学研究科・大学看護学部看護学科 第1回タイ王国看護研修を実施しました

04 TOPICS

・人間総合学科人間総合コース第11回ファッションショー(教科発表)を開催しました
・看護学科第11期生、12期生 平成27年度同期会を実施しました

05 EDUCATION

・地域の皆さまを対象に、特別受講生制度を実施

06 EDUCATION

・地域の皆さまを対象に、福祉・心理・子育てなど、幅広い内容の講座を開講

07 INFORMATION

・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部からのお知らせ

大 短
平成27年度 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 学生表彰式を実施しました


平成28年2月23日(火)、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部合同学生表彰式を行いました。

今回が第2回となるこの表彰式では、1団体、13名の学生が受賞し、諫山正大学学長、関昭一短大学長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。

表彰を受けた学生は、「自分がかんばってきたことを認めていただいて嬉しい」「社会に出てからもこの経験を活かしていきたい」など、喜びを語っていました。

●平成27年度 学生表彰 受賞者

●団体受賞

新潟青陵大学女子バスケットボール部

<受賞理由>

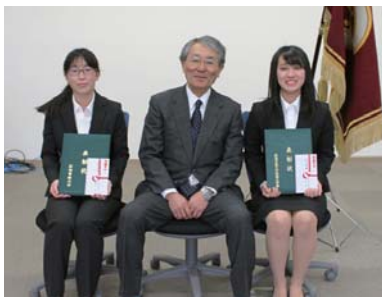
平成27年度(第49回)笹本杯北信越大学バスケットボールリーグ戦2部優勝、1部昇格

●個人受賞

渡邊 春香(福祉心理学科4年)

<受賞理由>

平成27年度(第36回)北信越国民体育大会バスケットボール競技会新潟県成年女子代表選手に選出


●個人受賞

阿部 夏美(看護学科1年)

<受賞理由>

平成27年度(第36回)北信越国民体育大会フェンシング競技会新潟県成年女子代表選手に選出

●個人受賞

五十嵐 菜美(人間総合学科1年)

<受賞理由>

平成27年度(第70回)国民体育大会なぎなた競技会新潟県成年女子代表選手に選出


●個人受賞

<学生ボランティアコーディネーター>

畑山 咲季(看護学科4年)

氏田 萌(看護学科4年)

渡辺 沙弥華(看護学科4年)

本間 みく(看護学科4年)

谷川 まな(看護学科4年)

本間 詩織(看護学科4年)

川崎 由真(人間総合学科2年)

岡田 いずみ(人間総合学科2年)

山岸 未佳(人間総合学科2年)

石附 香(人間総合学科2年)

<受賞理由>

学生ボランティアコーディネーター発足時より尽力、貢献。個々においても幅広く積極的に活動を行い、多方面へ貢献

学生表彰 受賞した感想

●団体受賞

新潟青陵大学女子バスケットボール部
主将 廣川 奈都美

「評価していただきとても嬉しいです。
4年間の活動は楽しかったことばかり

ではありませんでした。とても貴重な時間を過ごすことができました。学業との両立で辛い期間もありましたが、学生時代にしか味わえない貴重な時間だったと思います。4月からは社会人として新しい生活が始まります。悩むこともあると思いますが、先生方からいただいた言葉や仲間のことを思い出し、頑張っていきたいと思います。」


●個人受賞

新潟青陵大学短期大学部
五十嵐 茉美

「学校から賞をいただける事はとても
嬉しいのです。今まで頑張ってきて良

かったと思うと同時に、今後も頑張りたいと思います。なぎなたは高校生の頃に始め、短大入学後は土日、長期休業を中心に練習をしていました。学業との両立で大変な時期もありましたが、友だちの支えもあり、充実した1年でした。大会ではとても悔しい思いをし、その悔しさは今の自分を強くしてくれています。この活動は大きな財産であり、大きな経験です。短大生活の残りの1年を充実した毎日できるように頑張りたいと思います。」


●個人受賞

新潟青陵大学
畑山 咲季

「素直に嬉しいです。「ぼらくと」を発売
させて本当に良かったと感じていま

す。何事も継続することに意味があると実感すると同時に、自分が行ってきたことが認められたことで自分自身の自信にもつながりました。大学4年間は終わってしましますが、ボランティアは続けていきたいと思っています。また青陵で学んだことを活かし、困難があっても何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。」


●個人受賞

新潟青陵大学短期大学部
岡田 いずみ

「このような賞をいただけるのも、ボラ
ンティアセンターの教職員の方々や仲

間たちのおかげだと思い、感謝でいっぱいです。私は青陵に入学するまでボランティアとは無縁の生活を送っていましたが、この活動に参加することで、ボランティアの楽しさはもちろん、企画運営側の楽しさも知ることができました。うまくいかず辛かったこともありましたが、今振り返るとすべて良い思い出です。4月からは社会人になります。この経験を活かし、少しずつ、でも確実に成長していきたいです。」

大 短
国立青少年教育振興機構「法人ボランティア表彰伝達式」で学生が表彰されました


平成28年2月1日(月)、国立妙高青少年自然の家所長、職員の方にお越し頂き、本学にて国立青少年教育振興機構「法人ボランティア表彰伝達式」が開催されました。

●法人ボランティアとは

国立青少年教育振興機構が実施する「ボランティア養成事業」に参加し知識や技術を学んだ上で登録をすると、全国28施設の国立青少年施設でボランティア活動を行うことができる制度

今回は国立妙高青少年自然の家より推薦いただき、本学看護学科4年 渡辺沙弥華さん(学生ボランティアコーディネーター)が表彰を頂くこととなりました。

渡辺さんは入学当初より献身的に国立妙高青少年自然の家での事業や国立青少年教育振興機構の事業に参加し、様々な経験や学びを得てきました。学業とボランティアを両立させ、法人ボランティアとしてその活動が他の学生の模範として高く評価され表彰の運びとなりました。

表彰式前は緊張しすぎて集中できなかったという渡辺さんですが、今まで参加してきたボランティアの思い出話などをする中で自然と笑顔がこぼれ、和やかな雰囲気での表彰式となりました。


受賞した感想
(看護学科4年 渡辺沙弥華)


大変貴重な賞を頂戴し、とても嬉しい気持ちで胸がいっぱいです。

私は国立妙高青少年自然の家で主に子ども向けのイベントやキャンプのボランティア活動に参加してきました。はじめは子ども達との接し方やまとめ方がわからず、自分のことだけで精一杯…失敗して悔しい思いをすることもたくさんありました。しかしその都度、職員の方々に丁寧なアドバイスやフォローをしていただき、「次はここに気をつけよう。」という目標ができ、少しずつステップアップしながら、子どもへの関わり方や見方を学んでいくことができました。

自然体験活動では、仲間と一緒に困難を乗り越え、達成した時の感動を味わう子どもたちの姿を目の当たりにしました。またそれぞれの子どもの合った支援の方法を考え、子どもたちが壁を乗り越えた時には、子どもたちだけでなく自分自身の成長も感じました。

ボランティア活動を通して何にも変えられない経験と学びを得ることができました。多くの方々のご支援と、仲間達や子ども達の協力があつたからこそだと思います。この学びを子ども達のために十二分に生かしていけるよう、これからも頑張ります!!

大

フィリピン研修旅行を実施しました



平成28年1月6日(水)～12日(火)、フィリピンのマニラ市内および近郊にあるコットンネの施設でボランティア活動を行うフィリピン研修旅行を実施しました。4度目となる今回は、学生5人(看護学科1年生2人、福祉心理学科3年生3人)が参加しました。コットンネは、本学が交流協定を結んでいる韓国・コットンネ大学が属するカトリック団体で、フィリピンやウガンダ、ハイチなど多くの国々に拠点をもち、ストリートチルドレンや身寄りのない高齢者の救済活動を行っています。

マニラ地区のコットンネには、児童養護施設「ピジョンハウス」と、高齢者施設「ソマンハウス(希望の家)」があり、学生たちはピジョンハウスに宿泊し、施設の子どもたちと遊んだり学校へ連れて行ったり、食事の準備や後片付けなどを行いました。さらに、一緒にボランティア活動を行っているコットンネ大学の学生のみなさんと交流しました。

3日目には小学校でパーティーが開かれ、それぞれがダンスを披露しました。コットンネ大学の学生の洗練されたダンスに圧倒されながらも、本学の学生たちもゴリエのペコリナイトを踊って会場の子どもたちを楽しませました。

さらに4日目の子どもたちとの遠足ではビーチリゾートに行き、言葉がなかなか通じない中ボディランゲージを駆使しながら子どもたちと楽しい交流ができました。

ピジョンハウスのアンドレアブラザーが、一番本学の学生に見せて感じさせたかったのは、フィリピンでの貧富の格差でした。そのために、ブラザーは本学の学生を昨年まで墓地で暮らしていた人たちが住んでいる地区に案内し、そこで仕事がなくあえいでいる人たちに対する支援の活動を見せてくれました。学生たちは大きなショックを受け、色々な疑問を感じた様子でした。



院 大

大学院看護学研究科・大学看護学部看護学科
第1回タイ王国看護研修を実施しました

平成28年2月22日(月)から、今回が第1回目となるタイ王国看護研修を実施しました。研修目的はタイ王国の看護の現状・課題・動向を知ることです。参加者は大学院看護学研究科の院生4名、看護学部看護学科の学生1名、教員2名でした。研修は、首都バンコクから車で1時間半ほどのチョンブリー県にあるプラパ大学で行われました。

研修はタイ王国の医療事情および看護事情の講義とともに、いくつかの病院見学をさせていただきました。講義や施設説明は、タイ語ではなくすべてが英語でなされました。言葉の理解に悩んだときは本当に根気よく丁寧に説明していただきました。また、研修参加者からも質問が多く出され、活発な意見交換ができました。質問・意見交換に夢中になりすぎるあまり、講義時間が1時間以上もオーバーすることもありました。

タイ王国の医療・看護事情では、島国日本と違い、隣りあった国があることでの問題を抱えていること、看護教育がすべて4年制大学であること、卒業とともに看護師と助産師国家試験受験資格が得られることなど、興味深い日本とのさまざまな違いを知ることができました。また、研修以外での少しの時間でしたが寺院観光やショッピング、屋台などでタイ料理を堪能したりと、異文化体験もできました。これら貴重な体験のなか、多くの出会いがありました。お会いした全ての方の笑顔の温かさ、丁寧な対応をしていただいたことで充実した研修になったと思います。この出会いに感謝するばかりです。



短

人間総合学科人間総合コース 第11回ファッションショー（教科発表）を開催しました



平成27年12月19日(土)、ANAクラウンプラザホテル新潟において、短大 人間総合学科人間総合コースによる、第11回のファッションショーを開催しました。当日は学内関係者、保護者、高校生、一般の方など、200人を超えるお客様をお迎えして、盛況のうちに終了することができました。

今年度のテーマは『Angesista』、「幸せを運ぶ天使たちの贈り物」という意味の言葉(造語)です。ファッションショーを通してお越しいただきました皆さまに、少しでも幸せをお届けできますようにと願いを込めました。個性溢れる15人の学生が2年間の集大成となる作品を自らがモデルとなり、それぞれの思いを込めて、ウェディングドレスをメインにデザインドレスなど60点ほどの作品を発表することができました。

入学前まで被服製作の経験がほとんどない学生たちが、授業時間内で作品を完成することは大変難しく、授業以外の時間や夏期休業を返上し、担当教員の指導のもと製作に取り組んできました。それだけに、フィナーレでは感動と充実感に溢れた、とても良い表情をしていました。大変貴重な経験になったことでしょう。

ご来場いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



大

看護学科第11期生、12期生 平成27年度同期会を実施しました

平成27年11月7日(土) 青陵学会終了後、4号館ホールの一隅に丸テーブル席を設け、午後15時30分ころから第1回同期会を行いました。参加者は青陵学会における発表者3名を含めた6人の事前申込者と当日参加3人および教員8名の合計17名でした。学部長、学科長の挨拶の後、懇親会(茶話会)に入りました。

懇親会では卒業生の消息や現在勤務している病院、勤務内容、勤務状況などを語りあいました。教員からの質問も多岐におよび、懐かしさと共に卒業生同士が情報を共有しあうことの大切さを感じました。約1時間半ほどの語らいの後、同期会のさらなる拡大と組織の充実を図ることを確認し、閉会となりました。

次回の同期会は平成28年11月、新潟青陵学会と同日開催となります。卒業生の皆様のお越しをお待ちしております。

大 短

「業界・企業研究フェア」を開催しました



平成28年2月25日(木)、朱鷺メッセにて「新潟青陵大学・短期大学部 業界・企業研究フェア」を開催しました。参加学生総数は200名超にのぼり、内訳は短大 人間総合学科人間総合コース170名、大学 福祉心理学科30名という、活気溢れる説明会となりました。

平成28年3月1日(火)から就活解禁ということもあり、また、更なる短期集中型新卒採用を意識してか、参加学生達は昨年にも増して参加企業ブースを数多く廻り、終了時間を超えてまでも熱心に説明を受ける姿が多数見受けられました。

フェアには、北越銀行・大光銀行・JR東日本等、県内外の優良企業新規参加含む41社が参加、各社人事担当者様からは熱の入ったご説明をいただきました。

この研究会が本学学生の就職に結びつくよう祈念しつつ、今後更なる就職支援に努めてまいります。

大 短

地域の皆さまを対象に、特別受講生制度を実施

新潟青陵大学(看護学部・福祉心理学部)および新潟青陵大学短期大学部(人間総合学科・幼児教育学科)では、地域社会に開かれた大学として継続的・体系的な生涯学習のご提供をめざし、2015年度より特別受講生制度をスタートいたしました。

この制度は、地域の皆さまのご期待と日頃からのご支

援に積極的にお応えすべく、両大学の授業科目の一部を公開し、学生と一緒に学んでいただくものです。

より多くの地域の方々のご受講をお待ちしております。


特別受講生制度 2016年度前期 公開授業科目

科目名	開催日	受講料	担当教員
社会福祉原論Ⅰ	月曜日 8:50 - 10:20	10,000円 (授業回数:15回)	平川 毅彦(社会福祉学科 教授)
音楽	月曜日 8:50 - 10:20		渡辺 優子(社会福祉学科 准教授)
中国語Ⅰ	金曜日 8:50 - 10:20		孫 犁冰(人間総合学科 准教授)
ことばの科学	月曜日 10:30 - 12:00		野中 辰也(人間総合学科 教授)
中国語会話Ⅰ	月曜日 10:30 - 12:00		孫 犁冰(人間総合学科 准教授)
保健医療社会学	火曜日 8:50 - 10:20		海老田 大五朗(臨床心理学科 准教授)
心理学	火曜日 12:50 - 14:20		碓井 真史(臨床心理学科 教授)
コミュニケーション論	火曜日 12:50 - 14:20		関 久美子(人間総合学科 准教授)
保育原理	火曜日 14:30 - 17:40		仲 真人(幼児教育学科 准教授)
統計学	火曜日 16:10 - 17:40		中平 浩人(看護学科 教授)
社会心理学	火曜日 16:10 - 17:40		碓井 真史(臨床心理学科 教授)
疫学	木曜日 10:30 - 12:00		中平 浩人(看護学科 教授)
保育内容総論	木曜日 10:30 - 12:00		仲 真人(幼児教育学科 准教授)
心理学概説	木曜日 12:50 - 14:20		本間 優子(臨床心理学科 助教)
障害の理解Ⅱ	木曜日 14:30 - 16:00		平川 毅彦(社会福祉学科 教授)
生物(生命の謎)	木曜日 14:30 - 16:00		木村 一雅(人間総合学科 教授)
アパレル素材論Ⅰ	金曜日 8:50 - 10:20		丸山 尚夫(人間総合学科 教授)

大 短

地域の皆さまを対象に、福祉・心理・子育てなど、幅広い内容の講座を開講

新潟青陵大学・短期大学部地域貢献センターでは、大学・短大の教育機能を広く社会に開放するために、地域の皆様から気軽にご参加いただける公開講座を開催しております。2016年度前期講座では、福祉・心理・子育てなど、8講座を開講します。

開講される講座は以下のとおりです。日程が近い講座

もごさいますので、受講をご希望の方は下記までお問い合わせください。


2016年度 前期公開講座

講座タイトル	開催日時	受講料	講師
NCPR(新生児蘇生法)Bコース	5月21日(土) 13:00～17:00	4,000円	新潟大学医歯学総合病院 小児科医師
暮らしを楽しむ大人の折り紙	5月28日(土) 10:00～11:30	1,000円	梨本 竜子 (新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 准教授、日本折紙協会 認定折紙師範)
保育・教育に活かすリズム運動遊び ～リボンを使った体操～	6月11日(土) 10:00～12:00	1,000円	青野 光子 (新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 教授)
はじめての心理学実験 ～心理学ビギナーのためのワークショップ～			
第1回: 錯覚の心理学 ～私たちが捉えている世界は100%正しい?～	6月18日(土) 10:00～12:00	各回 500円	齋藤 恵美 (新潟青陵大学 福祉心理学部 臨床心理学科 助教)
第2回: 社会心理学 ～社会の中で心はどのように動くのか?～	7月16日(土) 10:00～12:00		
児童文学・ファンタジーに学ぶ生きる知恵と技術 パートXII ～人、その多面なるもの～			
第1回: 逆転の発想・パロディーの絵本	6月25日(土) 10:30～12:00	各回 1,000円	第1回: 原田 留美 (新潟青陵大学 福祉心理学部 社会福祉学科 教授)
第2回: 魔女を生きる	7月2日(土) 10:30～12:00		第2回: 橘 玲子 (新潟青陵大学非常勤講師、元新潟青陵大学大学院 看護学研究科 教授、元放送大学大学院 教授)
体験しよう! 自立した読み手・書き手を育てる教え方・学び方	7月2日(土) 13:00～16:00	4,000円	吉田 新一郎 氏 (プロジェクト・ワークショップ代表)
「お子さんは働けます!」 ～障害がある人びとを雇用する企業からのメッセージ～	8月24日(水) 10:00～12:00	500円	海老田 大五朗 (新潟青陵大学 福祉心理学部 臨床心理学科 准教授)
発達障がいについて、みんなで考えよう! ～ここからスタートするために～	9月3日(土) 13:00～16:15	500円	角田 千里 氏 (NPO法人にいがたオーティズム理事長)

学校行事

●平成27年度卒業式
平成28年3月18日(金)
短期大学部:開式11:00
大学・大学院:開式14:00
会場:新潟市芸術文化会館(りゅーとびあ)

●平成28年度入学式
平成28年4月2日(土)
短期大学部:開式10:30
大学・大学院:開式14:00
会場:新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部体育館

地域の皆さまへお知らせ

●図書館 開館時間:平日 8:30~21:00
土曜日 9:30~17:00

※開館時間の短縮、休館日などがあります。
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。
<http://www.n-seiryu.ac.jp/library/>

●臨床心理センター
新潟青陵大学大学院臨床心理センターでは、地域一般の方々を対象に「こころの悩み」についての相談活動・カウンセリングを行っています。ご相談をご希望される場合は、事前にお電話でお申し込みください。なお、ご相談については所定の料金が必要となります。
開室:平日のみ(木曜日を除く)
受理面接 13:00~(月曜日・木曜日を除く)
相談面接 10:00~18:00(担当者により異なります)
臨床心理センター直通電話番号 025-266-9533
(受付時間 木曜を除く平日10:00~17:00)

オープンキャンパス

●短期大学部
平成28年3月26日(土) 10:00~14:00
<内容>
学科コース紹介、職業紹介、入試概要&学費説明、学食体験、学校見学、ピアノ体験 等

●大学
平成28年3月27日(日) 13:00~16:30
平成28年4月29日(金・祝) 13:00~16:30
<内容>
学部・学科紹介、職業紹介、学校見学、フリートーク等

大学・短大棟新校舎建設のお知らせ

大学・短大棟新校舎の建設を進めています。この新校舎は4階建てとなり、建物内に図書館、アクティブ・ラーニングに対応した講義室のほか、音楽ホールなどが設置される予定です。完成は平成29年4月の予定です。


ご来学の皆様には引き続きご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



編集後記

NIIGATA SEIRYO NEWS 2016/3 March No.13

3月を迎え、多くの学生を社会に送り出す季節となりました。今号に掲載されているように、学生は、在学中にボランティア、クラブ活動、研修旅行などの正課内・正課外活動を通じて、学生同士や教員とのつながりだけではできない、多くの学びを経験します。この外の世界とつながる経験は、就業力・社会人基礎力をはぐくむ大切な機会となっております。一方、学内でも、現在建設が進められている新校舎では、図書館や音楽ホール、調理実習室などが配置され、地域の皆様に利用していただきやすい環境をめざしておりますし、学内で開講している授業を受講していただく特別受講生制度も社会人の方が一緒に受講されることで、学生には良い刺激となります。本学の学生を育てていただくためにも、お住まいの地域だけでなく、ぜひ本学に足をお運びいただき、学生と交流を深めていただければ幸いです。
(事務局長 栗林 克礼)

 新潟青陵大学
新潟青陵大学短期大学部

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
Tel : 025-266-0127(代) Fax : 025-267-0053
URL : <http://www.n-seiryu.ac.jp>

[オープンキャンパス・入学試験に関するお問い合わせ]
アドミッションズ オフィス
Tel : 025-266-8833 Fax : 025-266-9642
E-mail : ao4@n-seiryu.ac.jp(大学)
ao2@n-seiryu.ac.jp(短大)